

復興支援に思いを繋ぐ、JALの取り組み

東日本大震災から6年、熊本地震から1年がたちました。
復興の応援についてどのような取り組みを行ってきたのか、
これまでの活動の一部をお伝えします。

私たちが大切に考える4つの分野 ▶ 〈日本と世界を結ぶ〉 〈安全・安心〉 〈次世代育成〉 〈環境〉



【復興支援】

- ・東北コトプロジェクト
- ・都内の東北アンテナショップでの応援販売
- ・社内での東北物産展
- ・社内での熊本・益城町の方との交流会と熊本物産展
- ・社員による復興応援研修（東北・熊本）

【心の応援】

- ・JAL 笑顔の贈り物プロジェクト
- ・体験飛行「明日のつばさ」（東北・熊本）
- ・SKY BATON

01.02. 復興応援研修で、これまでの復興の歩みをうかがう様子。03. 益城町の婦人会「サークル絆」の皆さまによる手作りポーチ。被災した家屋から取り出した着物や洋服の生地を使用。

復興応援に向けた プロジェクトの立ち上げ

JALグループは、地域社会へ貢献するための活動の一つとして、東北や九州の被災地の復興応援に向け、さまざまな取り組みを行っています。

2013年には、東日本大震災による甚大な被害を受けた東北の皆さまの応援を目的とした、JAL東北応援プロジェクト「行こう！東北へ」の立ち上げを行いました。また、2016年には、同4月に発生した熊本地震で甚大な被害を受けた九州を応援するため、JAL九州応援プロジェクトも誕生。JALらしい取り組みを模索しながら、どうすれば応援の歩みを前に進めることができるのか……。それぞれのプロジェクトにおいて検討を重ね、「地元の復興支援」と「被災された方の心の応援」の二つの側面から活動を行ってまいりました。

今回は、そのプロジェクト活動の一部として取り組んでいる、「復興応援研修」と「東北・熊本の物産展」について、ご紹介いたします。

林でのボランティア活動も実施。一方、熊本復興応援研修では、熊本城や阿蘇神社の被害状況を学んだり、甚大な被害を受けた益城町の視察をし、地元の住民の方から地震当日からこれまでの貴重なお話を伺いました。東北も熊本も地元のお料理をいただいたり、その地の魅力が詰まった特産物に出合うなど、プライベートで再訪したいという声が多く集まる研修となりました。

東京にて、東北・熊本の 物産展を開催

熊本復興応援研修で生まれた地元の皆さまとのご縁をきっかけに、2017年4月に益城町の皆さまに東京のJAL本社へお越しいただき、社員に向けた震災講和と熊本物産展を実施する運びとなりました。益城町の婦人会「サークル絆」の皆さまの手作りポーチや、地元で採れた新鮮な野菜や果物、そのほか熊本名産品を販売。大盛況となりました。また、同月、同じくJAL本社にて、「東北市場」を実施しました。東北6県の都内アンテナショップが

一人一人の思い出を繋ぐ 復興応援研修

社員自らが被災地を訪れて、見て、感じて、ボランティア活動をして、復興に向けた道のりを学ぶきっかけとする「復興応援研修」。東北では2013年から28回、熊本では2016年から3回実施し、これまでに約800名の社員が参加しています。

東北復興応援研修では、2016年は南三陸や女川を訪問しました。津波の被害にあった土地の復興への道のりを学んだほか、漁業体験や森



ボランティア活動の一つとして、熊本・阿蘇地区では、「阿蘇うぶさんの湧き水米」の稲刈りを行いました。

一堂に会す、毎年恒例の本イベント。各県の名産品がたくさん並ぶため、多くの社員が楽しみにしています。JALグループは、東北や九州をはじめとする全国の皆さまとの絆を大切に、これからも復興応援に繋がる取り組みを実施してまいります。

お知らせ

「飛行機ワークショップ2017」～よく飛ぶ翼を創ってみよう！～

JALと東京大学生産技術研究所が共同で、中学生・高校生を対象としたワークショップを開催いたします。飛行機見学や実験を交えた講義を受け、飛行機が飛ぶ仕組みを学びます。奮ってご応募ください。

- 日程：[中学生クラス] 2017年10月14日・15日
[高校生クラス] 2017年11月18日・19日

- 場所：中学生クラス、高校生クラス共に、
[1日目] JALメンテナンスセンター1(東京都大田区)
[2日目] 東京大学生産技術研究所(東京都目黒区)

応募はこちらから：<https://www.jal.com/ja/csr/workshop/>



2015年9月、全国加盟国(193カ国)により「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals: SDGs)」が採択されました。2030年までに、貧困や気候変動、平和的な社会などの17の目標を達成すべく、JALグループも社会課題の解決に取り組んでいきます。

今回のテーマに当てはまる目標



■私たちが取り組むCSR活動に関する詳細は、こちらでもご覧いただけます。

www.jal.com/ja/csr/